

令和7年度 松本市教育文化センター運営委員会 開催概要

1 日時

令和8年3月17日（火）13時30分～14時30分

2 場所

松本市教育文化センター1階 講義室

3 出席者

- (1) 委員 澤柿会長、小松委員、玉水委員、手島委員、宮木委員
- (2) 事務局 小西所長、一ノ瀬館長、草間主査
川野指導主事、鈴木指導員、小池指導員、松岡指導員

4 会議事項

(1) 令和6年度決算についての概要説明

※ 質疑等なし

(2) 教育文化センター再整備工事について

ア 空調設備を中心とする既存施設の経年劣化対策を行う。同時に、「学都ラボ」への整備に向け検討を進めていく。

イ 令和8年4月から令和11年3月まで長期休館。教育文化センター事務室は情報創造館庁舎4階へ、山辺教育支援センターは旧里山辺地区福祉ひろばへ、オンライン教育支援センターは浅間荘へそれぞれ仮設する。休館中はアルプスタディは休止しあり方を検討、一般向け講座等は代替施設での実施、学校運営に関連した会議等は情報創造館庁舎にて実施することを想定

ウ 令和8年度以降は（仮称）「学都ラボ」整備に向け、リニューアルオープン後の講座等事業内容検討や新たに購入する備品の配置計画、条例改正等を行う。また科学展示室の整備についても検討を進める。

【質問や意見等】

- ・教育文化センターへの交通手段についても検討してください。
- ・子どもたちの疑問を育む空間にするという目標のためのイベントや取り組みについて、具体的に検討してください。
- ・リニューアルオープン後も今までのノウハウを活かしつつアルプスタディを継続してほしい。

(3) 令和7年度の事業報告と今後の見通しについて

ア 市内小学校全校、市内中学校のうち希望した12校がアルプスタディを実施。子どもたちが自ら課題を持ち、自由に学習を進めることができた。また、上高地の岩石やプラネタリウムを活用した探究学習により、「松本ならではの」「教育文化センターならではの」という学習環境の価値を再認識してもらえる機会になった。

イ プラネタリウム事業等4分野で市民講座を行った。どの講座においても、（仮称）「学都ラボ」を意識した講座構築・運営ができた。

ウ プラネタリウムのニーズが高く、理科の授業づくり研究として教職課程の一環で活用した事例もあった。

エ 令和8年度の主要事業については、代替施設における市民講座の開催等を予定している。また、リニューアルオープンに向けた検討を進める。

【質問や意見等】

- ・改修後の「学都ラボ」に向け、地域との連携も考えていってほしい。これまで一緒に講座を作ってきた市民の方々や諸団体の方との繋がりを重視してもらいたい。
- ・特定の分野に詳しい人を紹介する人材バンクのような試行を検討していただきたい。